

能登半島地震の発生から約2か月が経過しました。尊い人命が喪われ、また、いまだ多くの方が日常生活に大きな支障を来しており、改めて災害の怖さを痛感しました。

稲毛区役所からも複数の職員を被災地に派遣しましたが、戻った職員からは、日頃からの食糧の備蓄や、防災・避難訓練の重要性、避難所の大切さ、温かい食事のありがたさなどを再認識したとの報告を受けました。

先日、穴川町会・穴川コミュニティセンター避難所運営委員会（食料班）合同での防災訓練が行われ、参加をさせていただきました。また、被災地で従事した職員が、現地の様子を記録した写真を基にご報告をいたしました。

訓練を開催されました「穴川町会・穴川コミュニティセンター避難所運営委員会」に対して感謝を申し上げます。

「参加人数」

82人

【訓練内容抜粋】

- ・ A E Dの操作訓練
- ・ 1 1 9番通報
- ・ 消火器の取扱い体験
- ・ 煙体験
- ・ 炊出し訓練
- ・ 区職員による被災地派遣の報告

「A E Dの操作訓練」



「水消火器の取扱い体験」



「煙体験」



「炊出し訓練」



「区職員による被災地派遣の報告」

